

戦後報道写真で見る 昭和の久喜市

合併
記念



栗橋町消費生活協同組合の共同浴場とクリーニング店
1951年(昭和26年)



鷲宮駅ホーム 1952年(昭和27年)



キャンデー屋の箱洗い(あやめ橋付近)
1951年(昭和26年)



久喜駅を掃除する子どもたち 1953年(昭和28年)

H22.8.24 (木) ~ H22.10.29 (金)



- 開館時間:午前9時~午後5時 ●入館無料
- 休館日:土曜日・祝日(日曜日は観覧できます)

■久喜市下早見85-1(市役所西側) Tel.0480-23-5010

URL <http://www.city.kuki.lg.jp/shisei/kobunsho/kobunsho/kobunsho.html>

■交通案内:JR宇都宮線・東武伊勢崎線 久喜駅西口下車徒歩17分

過去に学び未来を見つめる

久喜市公文書館

開催にあたって

この度、新・久喜市の誕生を記念して第1回公文書館企画展「戦後報道写真で見る昭和の久喜市」を開催しました。一言に「戦後」と言いまして第二次世界大戦直後の混乱期、高度経済成長期そして成熟型社会となった現在のすべてが戦後ということになりますが、わずか半世紀たらずの間に社会構造や生活様式が大きく変化した「昭和」の時代が「戦後」と言えるものと思います。

写真を拝見いたしますと、映し出される人々は、どれも表情豊かで明日への希望に満ちており、生きる力が伝わってきます。戦後の食糧不足や就職難などで皆が生きていくのが精一杯だった時代にもかかわらず、どこか明るい雰囲気さえ感じます。

もちろん、単純に今の時代より昔のほうがよかったという訳ではありませんが、何かこの時代には、大人になると忘れてしまう「遊び心」みたいなものがあつたように思えます。

今回の企画展では、埼玉県立文書館が所蔵する埼玉新聞社戦後報道写真(昭和22年(1947)から昭和31年(1956)にかけて撮影した報道写真)を展示して、現在の日本のスタートラインとなった戦後混乱期から高度経済成長期にスポットをあて、新市域に関するものを紹介しています。

本市も今年3月から合併により新たなスタートを切ったところです。この企画展をとおして、地域が歩んできた過去のひとコマを知っていただくとともに、新・久喜市の新たな歴史のページを綴る基となれば幸いです。

最後になりますが、今回の展示を開催するにあたりまして、ご協力をいただきました埼玉県立文書館および株式会社埼玉新聞社ならびに関係者の皆様に心からお礼申し上げます。

平成 22 年 8 月

久喜市長 田 中 暄 二

展示資料

※新聞掲載の記事には別の写真が掲載されている場合があります。また、展示題名は埼玉県立文書館の資料名(表題)と異なる場合があります。

なお、「新聞掲載年月日」に「―」とあるのは、記事が掲載されなかったことを示しています。

つくる

機械化が進む以前の農作業は多くの人手をかけて行われていました。「稲刈り」の写真には学生帽をかぶった青年の姿も見られ、家族総出で作業が行われていた様子が見てとれます。一方、街には小規模な繊維工場をはじめ町工場があり、慌しく働く人々の様子が写真に記録されています。

展示題名	撮影年月日	新聞掲載年月日	埼玉県立文書館資料番号
始まった麦刈り	1954年(昭和29年)5月19日	1954年(昭和29年)5月20日	S290648
梨の収穫	1950年(昭和25年)8月14日	1950年(昭和25年)8月15日	S250497
「埼玉梨」の競り風景	1953年(昭和28年)9月4日	1953年(昭和28年)9月9日	S281033
うちわ作り	1956年(昭和31年)6月5日	1956年(昭和31年)6月6日	S310605-007
売れ行き好調なレンガ工場	1952年(昭和27年)4月23日	1952年(昭和27年)4月24日	S270364
北海道向け「埼玉麺」の積み出し	1951年(昭和26年)8月5日	1951年(昭和26年)8月6日	S260550
手袋工場	1950年(昭和25年)11月21日	1950年(昭和25年)11月22日	S250782
活気付く手袋工場	1956年(昭和31年)9月4日	1956年(昭和31年)9月16日	S310904-006
稲刈り	1951年(昭和26年)9月29日	1951年(昭和26年)10月3日	S260712
新酒の蔵出し	1953年(昭和28年)1月28日	1953年(昭和28年)1月31日	S280121-01

季節の来訪者たち

かつては季節の到来とともにやってくる人々がありました。金魚売り、キャンデー屋…。この頃は、東北・北海道方面から養蜂家が市域に来て養蜂を行い、また、田植えの時期には県外から大勢の援農隊員が訪れ、各農家で作業を手伝いました。

風物詩ともいえるこうした光景は、今はもう見るできません。

展示題名	撮影年月日	新聞掲載年月日	埼玉県立文書館資料番号
「金魚うり」	1955年(昭和30年)2月19日	1955年(昭和30年)2月21日	S300418
箱洗いするキャンデー屋	1951年(昭和26年)4月1日	1951年(昭和26年)4月3日	S260214-01
蜜蜂の群れ	1952年(昭和27年)4月18日	1952年(昭和27年)4月20日	S270347
久喜駅に降り立った援農隊員たち	1953年(昭和28年)6月9日	1953年(昭和28年)6月10日	S280682

生き生きと暮らす

戦後の混乱期を乗り越え、落ち着きを取り戻していく中で、公共工事が進み、公共施設も整備されていきます。特に旧久喜町では全国的にも早い時期に公共下水道事業を計画し、また、久喜養老院(後に、偕楽荘)は埼玉県下では、はじめての市町村立の老人福祉施設として設置されました。町村合併促進法により町村合併が行われ、昭和29年から32年にかけて久喜町、菖蒲町、栗橋町、鷺宮町が成立しました。このほか、栗橋町消費生活協同組合が共同浴場やクリーニング店を経営し、久喜農協では農協購買部が新装になるなど、人々の暮らしに潤いを与えています。

展示題名	撮影年月日	新聞掲載年月日	埼玉県立文書館資料番号
天王様	1949年(昭和24年)7月18日	—	S240052-02
天王様のにぎわい	1953年(昭和28年)7月13日	1953年(昭和28年)7月14日	S280820
棄権防止の宣伝	1951年(昭和26年)4月21日	1951年(昭和26年)4月22日	S260265
久喜駅を清掃する子どもたち	1953年(昭和28年)2月25日	—	S280255-01
工事を待つ下水管	1953年(昭和28年)2月20日	1953年(昭和28年)2月21日	S280230-01
栗橋町消費生活共同組合の共同浴場とクリーニング店	1951年(昭和26年)5月1日	1951年(昭和26年)5月5日	S260305-03
富士の湯内部	1951年(昭和26年)5月1日	1951年(昭和26年)5月5日	S260305-04
合併祝賀アーチ	1954年(昭和29年)7月8日	—	S291027
新装になった久喜農協購買部	1954年(昭和29年)9月24日	1954年(昭和29年)9月26日	S291695
世界母親大会出席の女史を送る壮行会	1955年(昭和30年)7月3日	1955年(昭和30年)7月4日	S301752
完成した久喜町養老院偕楽荘	1956年(昭和31年)5月8日	1956年(昭和31年)5月9日	S310508-012
栗橋の集団赤痢の菌検査	1953年(昭和28年)4月29日	1953年(昭和28年)4月30日	S280514-01

水とともに

新久喜市では稲作を主体とした農業が営まれ、水とのかかわりが深い地域です。かつては川や水路で子どもたちが泳ぐ姿が見られました。しかし、豊かな水の流れは時として牙をむき、1947年(昭和22年)のカスリーン台風の際には、利根川の堤防が決壊して、市域に大きな被害をもたらしました。栗橋の国鉄(現JR)鉄橋、利根川橋はケタ上げ工事が行われ、鉄橋の工事に伴い、栗橋駅は久喜駅寄りに170メートルほど移転しました。

展示題名	撮影年月日	新聞掲載年月日	埼玉県立文書館資料番号
久喜駅前に現れた怪魚	1955年(昭和30年)5月24日	1955年(昭和30年)5月25日	S301297

満々と水をたたえる見沼代用水	1955年(昭和30年)7月2日	1955年(昭和30年)7月4日	S301744-01
橋ゲタまで50センチに増水した栗橋鉄橋	1950年(昭和25年)8月6日	1950年(昭和25年)8月7日	S250475-01

鉄道と道路

1885年(明治18年)、大宮・宇都宮間の鉄道が開通し、久喜駅、栗橋駅が開設されたのをはじめとして、その後、東武伊勢崎線の久喜駅、鷲宮駅、東武日光線の栗橋駅、南栗橋駅、東北本線の東鷲宮駅が開設されます。国道4号線の利根川橋は、それまでの渡船に代わるものとして1924年(大正13年)に建設されました。

食糧の流通が統制されていたこの時代、「かつぎ屋」と呼ばれる人が出沒しました。かつぎ屋とは不適法に米や農産物を運ぶ人々のことで、この時代の埼玉新聞記事にはかつぎ屋の摘発やヤミ米の取り締まりなどに関するものが目立ちます。

展示題名	撮影年月日	新聞掲載年月日	埼玉県立文書館資料番号
建築中の栗橋駅	1950年(昭和25年)5月29日	1950年(昭和25年)5月30日	S250310-01
利根川橋ケタ上げ工事	1950年(昭和25年)12月13日	1950年(昭和25年)12月15日	S250842-05
D51型機関車の地固め試運転	1951年(昭和26年)8月29日	1951年(昭和26年)8月30日	S260619-01
利根川橋が完成	1953年(昭和28年)4月27日	1953年(昭和28年)4月28日	S280508-02
栗橋検問所	1952年(昭和27年)10月14日	—	S270973-01
車内検査	1952年(昭和27年)2月28日	1952年(昭和27年)2月29日	S270160-02
鷲宮駅ホーム(No.1)	1952年(昭和27年)11月29日	—	S271164-01
鷲宮駅ホーム(No.2)	1956年(昭和31年)11月28日	—	S311128-001
東武三郡道路改良促進大会	1955年(昭和30年)10月8日	1955年(昭和30年)10月9日	S302740-02

学校と史跡

埼玉県立久喜高校は、1919年(大正8年)久喜町外十五町村組合立久喜実科高等女学校として開校し、1921年(同10年)には県下4番目の高等女学校として埼玉県立久喜高等女学校となります。開校当初からテニスをはじめスポーツが盛んで、戦後は特にバレーボールでの活躍が目覚しく、バレー部は1953年(昭和28年)には全日本高校女子バレーボール大会と第8回国体の双方で優勝を果たし、その名を全国にとどろかせました。埼玉県立菖蒲高校は、県立不動岡高校の定時制分校として1948年(昭和23年)に、菖蒲小学校の校舎の一部を借りてスタートしましたが、本年3月、県立蓮田高校と統合のため半世紀あまりの歴史に幕を閉じました。

展示題名	撮影年月日	新聞掲載年月日	埼玉県立文書館資料番号
静御前の墓	1951年(昭和26年)2月8日	1951年(昭和26年)2月9日	S260080
学徒総合体育大会 久喜高バレー部が優勝	1951年(昭和26年)5月27日	1951年(昭和26年)5月28日	S260382
猛練習する久喜高バレー部	1956年(昭和31年)5月20日	1956年(昭和31年)5月23日	S310520-002
お蓮の池から見た久喜高校の校舎	1956年(昭和31年)1月21日	1956年(昭和31年)2月14日	S310121-013
県立不動岡高校菖蒲分校 校舎完成	1952年(昭和27年)11月18日	1952年(昭和27年)11月19日	S271117-02
桜田小学校の校舎	1955年(昭和30年)7月29日	1955年(昭和30年)8月1日	S302042-01
鷲宮神社の石燈籠	1956年(昭和31年)8月31日	1956年(昭和31年)9月3日	S310831-003

発行: 平成22年8月

編集: 久喜市公文書館 〒346-8501 久喜市下早見85-1 TEL0480-23-5010

E-mail kobunsho@city.kuki.lg.jp